



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,783	10.4	876	20.1	1,067	11.4	827	31.5
2023年3月期第3四半期	16,104	8.4	730	14.9	957	15.1	629	19.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 993百万円 (31.2%) 2023年3月期第3四半期 756百万円 (32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	67.53	
2023年3月期第3四半期	53.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	18,792	6,719	35.8	546.95
2023年3月期	16,576	5,620	33.9	477.61

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,719百万円 2023年3月期 5,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		8.00		8.00	16.00
2024年3月期		8.00			
2024年3月期(予想)				9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	7.7	880	30.3	1,070	15.5	830	37.9	67.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	13,495,248 株	2023年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,209,618 株	2023年3月期	1,726,963 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	12,257,105 株	2023年3月期3Q	11,760,365 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制解除による行楽需要やインバウンド需要の回復により、景気は持ち直しの動きを示しています。一方で、物価上昇による需要減少や人件費の高まりによるコスト増加などが、今後懸念されています。

この環境下において、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高17,783百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益876百万円（同20.1%増）、経常利益1,067百万円（同11.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益827百万円（同31.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

①自販機運営リテイル事業

自販機運営リテイル事業におきましては、仕入及び物流コストの高騰に対して業務の見直しによる生産性の向上や売価の適正化により収益性の改善に取り組むとともに、M&Aの一環として栃木県で456台の自販機営業権の譲り受けを実施しました。グループの既存の自販機網と連携し、譲受した自販機の効率的な運営を目指します。

また、第20回世界バラ会議福山大会2025に向けて提案した「ローズマインド・ビバレッジプロジェクト」が、「市民・企業提案型事業」に採択されました。2025年開催の世界バラ会議に向けて、福山市のバラを活用した飲料の開発を進めています。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は10,732百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益は237百万円（同54.4%増）となりました。

②飲料製造事業

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の値上がりに対応した価格設定を行い収益性の改善を進めるとともに、炭酸缶ラインの東西2拠点体制による営業力の強化を推進しています。また、今年4月に子会社化した静岡ローストシステム株式会社は、茶葉の微粉碎加工の新規案件の獲得が進み、今後も規模の拡大を計画しています。

この結果、飲料製造事業の売上高は6,766百万円（前年同四半期比13.0%増）、セグメント利益は845百万円（同5.1%増）となりました。

③不動産運用事業

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は99百万円（前年同四半期比2.9%減）、セグメント利益は152百万円（同0.1%減）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高164百万円を含めると264百万円となります。

④その他事業

その他事業におきましては、グループ内物流の体制整備の一環として、10月よりアシードブリュー株式会社宇都宮飲料工場の倉庫管理や製品の出入庫などの業務をロジックイノベーション株式会社に移管しました。また、グループ所有建物の空きスペースを活用して物流倉庫の増床を行い、収益性を改善しました。

この結果、その他事業の売上高は183百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,971百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,275百万円増加しました。これは現金及び預金の増加202百万円、受取手形及び売掛金の増加925百万円、商品及び製品の増加203百万円、原材料及び貯蔵品の増加34百万円、前払費用の減少26百万円及びその他の減少62百万円等によるものです。また、固定資産は11,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ940百万円増加しました。これは建物及び構築物(純額)の増加643百万円、機械装置及び運搬具(純額)の増加65百万円、リース資産(純額)の減少88百万円、建設仮勘定の増加80百万円、投資有価証券の増加207百万円、長期前払費用の減少48百万円及びその他の増加42百万円等によるものです。

この結果、総資産は18,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,215百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,119百万円増加しました。これは買掛金の増加421百万円、短期借入金の減少70百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加241百万円、未払法人税等の増加111百万円、未払消費税等の増加140百万円及びその他の増加419百万円等によるものです。また、固定負債は2,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。これは長期借入金の減少54百万円、リース債務の減少90百万円及びその他の増加138百万円等によるものです。

この結果、負債合計は12,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,117百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,098百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加827百万円、剰余金の配当による減少192百万円及び自己株式の売却による増加269百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は35.8%(前連結会計年度末は33.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日公表の「2024年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077	1,279
受取手形及び売掛金	2,654	3,579
商品及び製品	834	1,038
原材料及び貯蔵品	258	292
前払費用	188	162
その他	684	622
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	5,696	6,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,836	2,480
機械装置及び運搬具(純額)	2,539	2,604
工具、器具及び備品(純額)	46	56
土地	3,833	3,819
リース資産(純額)	432	344
建設仮勘定	81	162
有形固定資産合計	8,771	9,468
無形固定資産		
のれん	155	174
ソフトウェア	51	55
リース資産	36	25
その他	23	23
無形固定資産合計	267	278
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179	1,386
長期前払費用	265	216
繰延税金資産	53	85
その他	387	430
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	1,841	2,074
固定資産合計	10,880	11,820
資産合計	16,576	18,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,357	2,779
短期借入金	2,910	2,840
1年内返済予定の長期借入金	820	1,061
リース債務	217	160
未払金	746	697
未払法人税等	106	218
未払消費税等	87	228
賞与引当金	140	101
その他	647	1,067
流動負債合計	8,035	9,154
固定負債		
長期借入金	2,275	2,220
リース債務	335	244
再評価に係る繰延税金負債	34	34
退職給付に係る負債	142	146
その他	131	270
固定負債合計	2,920	2,918
負債合計	10,955	12,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,012	1,034
利益剰余金	5,046	5,589
自己株式	△900	△630
株主資本合計	5,957	6,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	99
土地再評価差額金	△462	△363
為替換算調整勘定	93	192
その他の包括利益累計額合計	△336	△72
純資産合計	5,620	6,719
負債純資産合計	16,576	18,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	16,104	17,783
売上原価	9,822	10,875
売上総利益	6,281	6,907
販売費及び一般管理費	5,551	6,031
営業利益	730	876
営業外収益		
持分法による投資利益	157	145
投資事業組合運用益	9	—
助成金収入	37	—
為替差益	10	0
受取保険金	13	16
その他	64	71
営業外収益合計	291	234
営業外費用		
支払利息	24	25
支払補償費	14	—
その他	25	18
営業外費用合計	64	43
経常利益	957	1,067
特別利益		
固定資産売却益	—	68
特別利益合計	—	68
特別損失		
固定資産除却損	17	—
減損損失	34	—
持分変動損失	14	—
特別損失合計	66	—
税金等調整前四半期純利益	891	1,135
法人税、住民税及び事業税	232	318
法人税等調整額	29	△10
法人税等合計	261	307
四半期純利益	629	827
親会社株主に帰属する四半期純利益	629	827

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	629	827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	66
持分法適用会社に対する持分相当額	109	99
その他の包括利益合計	127	165
四半期包括利益	756	993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	756	993

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用 事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,836	5,990	102	174	16,104	—	16,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	321	163	26	521	△521	—
計	9,845	6,311	266	201	16,625	△521	16,104
セグメント利益又は 損失(△)	154	804	152	△3	1,107	△376	730

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△376百万円には、セグメント間取引消去1百万円、のれんの償却額0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△378百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

自販機運営リテイル事業において、のれんの減損損失33百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

飲料製造事業において、株式会社河村農園の全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において128百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用 事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,732	6,766	99	183	17,783	—	17,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	445	164	47	659	△659	—
計	10,735	7,212	264	231	18,442	△659	17,783
セグメント利益	237	845	152	8	1,244	△367	876

(注) 1. セグメント利益の調整額△367百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△369百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。